

活動報告

- 第8弾猪名川のい〜な！
作品展・表彰式を開催しました／入賞作品の紹介
- 流域意見交換会を開催しました
- 猪名川クリーン作戦に参加しました

- 流域のイベントに出展しました
・伊丹市生物多様性交流フェスティバルinことば蔵
・防災×福祉セミナー みんなのぼうさい
・第52回いながわまつり ・第13回川西まつり

数珠つなぎインタビュー 「能勢妙見山ブナ守の会」



第8弾猪名川のい〜な！ 作品展・表彰式を開催しました

11月18日(月)～12月18日(水)に展示
11月20日(水)に表彰式開催

「猪名川のい〜な」は、猪名川の魅力を表現した写真や絵画を募集して作品展を開催する取り組みです。今年度も子供からお年寄りまで幅広い世代から写真47点、絵画45点の応募をいただき、流域の市役所や商業施設など5会場で展示を行いました。

また、入賞作品を12作品選定し、イオンモール伊丹の展示会場で表彰式を行いました。入賞者の方に作品の説明や受賞の感想などを発表いただき、皆様の猪名川への思いを感じる事ができました。

※入賞作品は裏面で紹介しています。



豊中市中央公民館での展示



イオンモール伊丹での表彰式

猪名川クリーン作戦に参加しました

2月15日(土) 猪名川河川敷19箇所同時開催

流域の活動団体や企業、行政等の連携による猪名川クリーン作戦が今年も開催され、河川レンジャーと協力員も7箇所の清掃に参加しました。桑津橋左岸では、佐藤レンジャー主導で外来植物アレチハナガサの駆除を同時に行いました。カヤネズミなどが生育できるオギ原を取り戻すため、たくさんの方が清掃や外来植物駆除に協力してくださいました。



大東レンジャー協力員の挨拶
(猪名川運動公園事務所前)



アレチハナガサ駆除の様子
(桑津橋下左岸河川敷)

流域意見交換会を 開催しました

12月5日(木) 猪名川河川事務所にて開催

猪名川流域で活動する団体の交流の場として毎年恒例の流域意見交換会を開催し、流域の広い範囲から、13団体17名の方に「ご参加いただきました。今回は「猪名川の『ええと』」というテーマで、猪名川の魅力・資源・見どころ等について楽しく話し合いながら、参加者同士の交流を深めました。貴重な動物の生息情報や、城跡等の歴史資源、昔の水浴場の話など、流域で長年活動されている方ならではの様々な話題で大変盛り上がりしました。



意見交換の様子

流域のイベントに出展しました

◆伊丹市生物多様性交流フェスティバルinことば蔵

2月5日(水)～2月16日(日)
伊丹市立図書館ことば蔵

伊丹市主催のポスター展に出展し、市域における佐藤レンジャーの活動紹介として、猪名川の外来植物問題や、カヤネズミ等の貴重な生物について啓発しました。



展示の様子

◆防災×福祉セミナー みんなのぼうさい

2月3日(土) 尼崎市中央生涯学習プラザ

尼崎市主催の防災福祉セミナーと併せて開催されたポスター展に志築レンジャーが出展し、河川レンジャーや猪名川河川事務所の防災の取り組みについて紹介しました。



出展したポスター

◆第52回いながわまつり

11月3日(日)
猪名川町総合公園ほか

11月10日(日)
キセツ川西せせらぎ公園

地域まつりに猪名川の体験ブースを出展しました。猪名川の魚釣りゲームや、河川敷の石に絵を描くストーンアート体験、猪名川周辺の生物のぬり絵、ハザードマップを使った体験展示などを行い、家族連れなど沢山の方に楽しんでいただきました。



川西まつりのブース



猪名川の魚釣りゲーム

第18回数珠つなぎインタビュー

「能勢妙見山ブナ守の会」

猪名川流域で活躍する団体をリレー形式で紹介しています。今回は能勢妙見山ブナ守の会を今西レンジャー協力員が訪問し、会員の皆さんにお話を伺いました。(1月21日訪問)

■発足の経緯を教えてください。

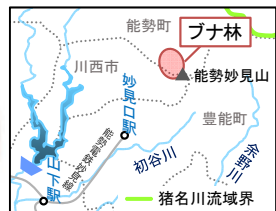
能勢妙見山のブナ林は、大昔から聖地として人々の信仰心により大切に守られてきたもので、樹齢数百年の大木が群生する原生林が残っています。加えて、標高600m級の自生地の南限であることから、大阪府と兵庫県川西市の天然記念物に指定されています。しかし近年、温暖化の影響やシカ害により若い木が育たず、ブナ林が衰退しつつあります。

この現状を問題視していた兵庫県立大学名誉教授の服部保先生と能勢妙見山副住職の植田観肇上人が平成26年にブナ林の視察を行ったところ、ちょうど数年に一度の成り年で、一面にブナが芽生えていました。この苗がブナ再生の糸口になるのでは、との思いから、その年の7月、お寺の関係者の有志が中心となって「能勢妙見山ブナ守の会」が発足し、ブナの植樹等の活動を始めました。

■どんな活動をしていますか？

特別保護区域約6haを中心に、種から発芽させた苗の育成、防鹿柵の設置、柵内への植樹、下草刈等を行っています。地面が適度に明るく、かつ、土壌がほどよく湿潤な場所でないブナが育たないので、スギを伐採して確保した場所や、倒木によって開けた場所に植樹をしています。防鹿柵の外ではシカが食べない植物(シロタモ、アセビ、シキミ等)が増えているため、間伐等の維持管理を行います。これらの作業は月1回行っており、メンバーは入れ替わりで毎回10名程度が集まります。

シロタモの間伐材などを木工に活用するクラフト部の活動も活発です。最近では趣味として楽しみたいという若い人の参加が増えてきました。また、こうしてクラフトに参加した人が少しずつブナ林の直面する問題を知って、保護活動にも参加するようになってきています。



ブナの葉



活動前の集合写真。この日は8名が参加。

■啓発活動やイベントにも力を入れているそうですね。

地球温暖化が少しでも進行すれば絶滅の危機に瀕する妙見山のブナ林こそ、地球温暖化の啓発に最適と考え、シンポジウム等を積極的に開催参加しています。東京など遠方から啓発活動の希望をいただくこともあり、今後は範囲を広げていきたいと思っています。

ブナ林内では、撮影会や子供の自然観察会のほか、朗読会やコンサートなど、ブナ林を活かしたアート系のイベントも開催しており、家族連れなど多くの方に来ていただいています。

Webサイトもぜひご覧ください。
【能勢妙見山ブナ守の会】

<https://bunamori.org/>

今西レンジャー協力員の感想

地味で堅実な保護活動から始まったブナ守の会ですが、今ではクラフト活動、ブナ林ツアー、シンポジウム、講演会等、若い人たちも巻き込みながら様々な活動されています。更には、会に集まった人々の繋がりがりから多様なイベントを開催するなど、広い世代にわたって生き生きと活動されている様子が伺えました。このような森林保全への関心を広げていく活動が、水源の森を育み、豊かな猪名川に繋がっていくのですね。

猪名川河川レンジャー賞

10作品



『魚捕りをする弟』
岡川 雄翔 様



『緑 萌える』
柴谷 浩也 様



『猪名川の清流』
塚原 由雄 様



『エドヒガン桜の咲く頃』
宮原 昇 様

第8弾 猪名川のい〜な!

入賞作品の紹介

猪名川河川事務所長賞 2作品



『絆』
西村 浩 様



『おつかれ! おかえり!』
山科 博 様



『大路次川の夏』
マサル・マツハラ 様



『緑の猪名川と利倉橋』
三島 礼 様



『Get~! いながわ水族館』
明星 茜 様



『やさしい光』
谷川 生馬 様



『猪名川でお花見楽しいな!』
則久 正志 様



『絶滅危惧種返りの咲き』
西 誠生 様

※全応募作品を掲載した図録は河川レンジャーのウェブサイトに掲載しています。
<http://www.iranger.jp/report/vol83.html>

猪名川河川レンジャー

Webサイト <http://www.iranger.jp/>
メールアドレス info@iranger.jp

<https://www.facebook.com/inagawaRanger>



Webサイト



facebook



猪名川河川事務所 工務課
池田市上池田2丁目2番39号
TEL:072-751-1111(代表)

新たな
河川レンジャーも
募集中です!

猪名川河川レンジャーに関するお問い合わせは、Web サイトまたはメールアドレスをご利用いただくか、猪名川河川事務所 工務課までご連絡下さい。